神戸大学医学部附属病院

脳神経内科

指導担当医（役職）

関口　兼司（准教授）

実習概要

実習コース

２週間コース・４週間コースどちらも可

概要

脳神経内科では、主治医団に配属されチームと一緒になって診療活動を行います。初診患者については中心となって病歴聴取と身体診察を行います。担当患者さんの神経学的所見を教員と一緒にとることで、実際に役に立つ診察技術を身につけることを目標にします。

入院時要約を作成してカンファレンスでプレゼンテーションを行い、アウトプットスキルを身につけます。

病状説明に参加して患者とのコミュニケーション手法を学びます。

外来では見学に加えて、初診患者の問診をとり、その後の専門医の診察に陪席します。

検査には積極的に参加して、検査の意義や手法を学びます。

脳神経領域の最先端のトピックスについて希望に応じたミニレクチャーを受ける機会を提供します。

実習スケジュール

	AM	PM	夕方
月曜	8:40　Neurology抄読会	チームラウンド	
火曜	8:00　カンファレンス・総回診	チームラウンド	オンライン症例検討会（希望者）
水曜	自由　（チームに参加してもよいし、自習でもよいし　ミニレクチャーでもよい）		
木曜	9:00　検査見学・外来問診	チームラウンド	脳波・筋電図カンファ（希望者）
金曜	8:30　教育回診	チームラウンド	

学生へのメッセージ

「神経は苦手」と多くの学生さんが言いますが、用語が多く他の領域と共通項目が少ないだけで、慣れてしまえば理屈は大変シンプルな分野ですので、苦手意識がある方ほど、学生のうちに手をつけることをおすすめします。

神経学的所見という身体所見と、高度な医療機器による検査所見が同等の重要性を持つ、いまどき珍しい診療科です。マニュアル通りの医療ではなく、治りにくい疾患に対する対峙の仕方や、診断さえつけば新規治療法の適応になる疾患の見極めなど、医療のダイナミズムを味わえます。是非ベッドサイドで体験してください。そのような状況での先輩方の所作も学んでください。

神経疾患に触れると、我々の日常活動（脳の命令による活動）がいかに精巧に成り立っているのか、あらためて感動することでしょう。その機能の障害とどのように向き合うのか、患者さんと考えていく姿勢を身につけることは、高齢者を対象とする今後の医療者に必要なスキルです。

脳神経内科あるいは脳科学を目指している方はもれなく選択して、何でも聞いてください。他科を目指している方も、少しでも興味があれば選択してみましょう。